

K109

# ムダ取り改善のIE手法を学び、人財育成と利益貢献する IE実践講座

基本知識の  
習得

開催日 平成29年12月14日(木)～12月15日(金)

時間 9:30～16:15 (休憩45分)

研修期間 2日間

研修時間 12時間

受講料 12,960円(税込) / 1名様

業種		受講階層	
製造	●	若手社員	●
卸・小売		中堅社員	●
情報通信		管理・監督者	●
サービス		経営者・経営幹部	

## 研修のねらい

IE改善手法を習得して、ムダを徹底的に排除して、効率的な作業でコストダウンを実現し、継続的な改善で企業収益に貢献し続ける。

IE (industrial engineering) とは  
人、設備、材料・資材、情報、エネルギー等の生産資源を有効に活用するための、ワークシステムの、設計、導入、運用、改善に関する総合的工学技術です。



## 内容・カリキュラム

1日目

- なぜ改善活動が必要か！改めて考える
  - 取り巻く情勢の変化、企業の役割
  - 利益を出すしくみ、利益はムダ取りから
  - ムダを取る推進はどうするか
  - 改善の動機づけ、改善の4原則
- IEの手引き
  - IEとは、IEの6つの役割
  - モーションマインド、IEの歴史、IE手法の体系
  - 「3ム」と「ムダの種類」、付加価値とは
- 工程分析と改善演習
  - 製品の流れ分析と問題把握
  - 運搬の流れ分析と問題把握
  - 改善の着眼点と改善
  - 改善演習
- ライン作業の分析と改善演習
  - バッチ生産・ライン生産・セル生産
  - 仕事の分担の上手なやり方
  - ラインバランス分析
  - ラインバランス改善演習
- 連合作業分析と改善演習
  - 人(機械)と機械の作業ロス分析
  - 連合作業分析の種類
  - 改善の着眼点と改善
  - 改善演習

## 内容・カリキュラム

2日目

- 動作分析と改善演習
  - 8つの動作標準要素を理解する
  - 動作分析・時間測定のやり方
  - 動作経済の原則と改善の着眼点
  - 改善演習
- 稼働分析によるロスの大きさ把握
  - 稼働分析の種類
  - ワークサンプリングの進め方
  - 稼働内容をつかむ
  - ロスの定量化と改善の着眼点
  - 改善演習
- 段取り替え分析と改善演習
  - 段取り時間の現状把握
  - 段取り作業の区分け
  - 3つの改善
  - 改善演習
- リーダシップ
  - リーダシップとは
  - 管理監督者の心がけ
  - 管理監督者の役割
- 質疑応答と研修のまとめ
  - 決意表明(自社で明日から実践できること)
  - 課題
  - 解決策
  - 計画 など

岡山生産性向上人材育成事業

生産

